

# 長野市資源再生センター火災に係る対応経過と今後の予定について

## 対応経過

日付	時間	対応
4月4日(木)	2:28	資源再生センター火災消防覚知
	5:00	大豆島地区住民自治協議会、松岡地区へ電話連絡(資源再生センター所長)
	7:05	市委託浄掃事業協同組合へ不燃ごみ、びん、乾電池の収集中止を電話連絡
	7:20	第四地区区長へ本日の収集中止の連絡完了
		防災行政無線(2:40、9:58、11:50)、巡回広報車(8時～)で周知
	13:00	6日(土)までの収集中止を決定、該当地区区長、収集運搬事業者(184社)へ連絡
4月5日(金)	9:00	巡回広報車(9:00～16:00)で周知
	10:00	大豆島地区区長会へ経過説明(環境部長、生活環境課長)
	13:00	13日(土)までの収集中止を決定、該当地区区長、収集運搬事業者(184社)へ連絡
	13:00	相談窓口の開設(生活環境に関する事、健康に関する事)三陽保健センター他
	13:00	臨時支所長会議 状況報告、住民への周知協力依頼
	14:00	県の移動大気環境測定車「あおぞら4号」を大豆島支所に設置 大気観測開始

日付	時間	対応
4月5日(金)	15:30	記者会見(資源再生センター) 消防局長、環境部長
		巡回広報車(16:50~19:30)大豆島支所の相談窓口開設周知
4月6日(土)	8:30	6日(土)と7日(日) 大豆島支所に健康不安に対する窓口設置(保健師2名)
		相談件数:面談2件 電話7件(うち健康に関する相談2件)
		平日(8日以降)は、三陽保健センター、保健所健康課で対応(相談件数:電話2)
4月7日(日)	8:00	鎮火確認 防災行政無線、広報車で鎮火のお知らせ
	10:00	大豆島区長会長、松岡区長宅へ鎮火の報告とお詫び(環境部長、生活環境課長)
4月8日(月)	11:00	政策説明会で対応状況説明
4月9日(火)	13:20	市長、大豆島地区区長会で経過説明
4月10日(水)	12:00	「あおぞら4号」観測終了 火災で直接発生する主要4物質に環境基準値超過なし
4月11日(木)		宝資源開発(株)、直富商事(株)と不燃ごみ等の臨時処理について合意
		4月15日(月)から不燃ごみ等の収集再開を決定
		会派代表者への説明、全議員へ一斉メール、プレスリリース、収集地区区長へ電話
4月12日(金)		2社の事業所所在地の篠ノ井・川中島地区の関係区長に交通環境の変化を説明
4月15日(月)		ごみ集積所からの収集を再開

## ○資源再生センター復旧までの不燃ごみ・缶の処理について

### ・不燃ごみ、缶の処理について

ごみ集積所から収集した不燃ごみは、宝資源開発(株)、直富商事(株)に処理を委託する。缶の圧縮処理は直富商事(株)に委託

概算経費：約3,650万円/月(H30年度収集量で算出)(精査中)

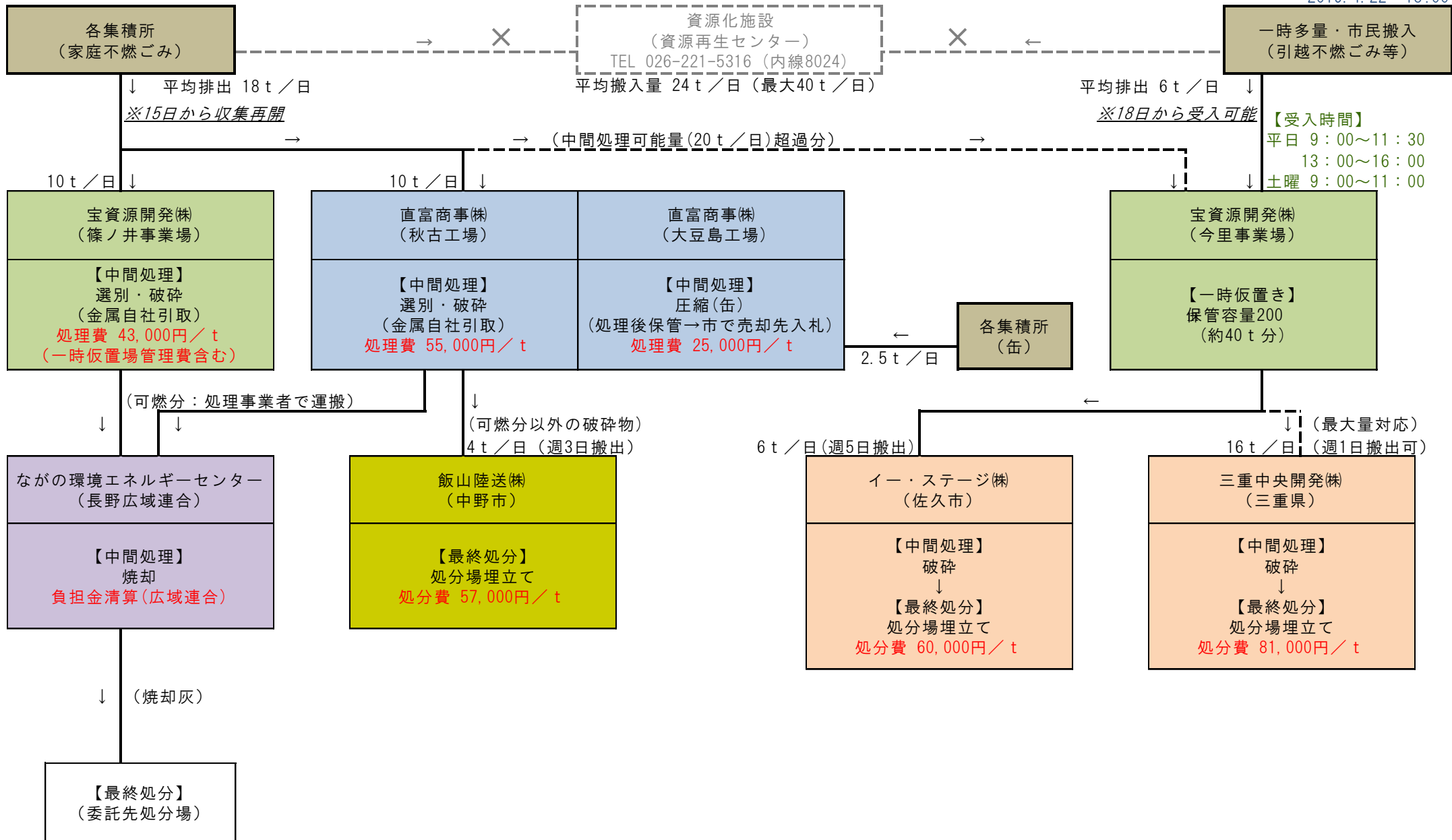
### ・市民が直接搬入する資源物について

プラスチック製容器包装、紙、ペットボトル、ビン、乾電池、剪定枝葉については、資源再生センターでの受付け、処理を再開

### ・市民が直接搬入する不燃ごみについて

宝資源開発(株)今里事業所で受入れ一時仮置きし、イーステージ(株)で処理。搬入量が多い場合は、三重中央開発(株)でも処理する

概算経費 60,000円～81,000円/t(上記概算経費に含む)



## ○資源再生センターの被害状況について

### ・建築設備

自動火災報知設備、照明設備、非常放送設備等の損傷

### ・プラント設備

除じん機、異物取出し機、スプリンクラー用火災検出装置等損傷

### ・ごみクレーン設備

電源供給ケーブル溶解、制御設備・構成機器類損傷

### ・建屋本体

ごみピット上部鉄骨建屋の鉄骨部材変形、高張力ボルトの損傷  
屋根明り取り変形、外壁ALC板熱割れ

## ○資源再生センターの復旧に向けて

### ■再発防止に向け、安全対策に万全を期す

- ・監視カメラによる24時間の監視通報体制の検討(見積中)
- ・大豆島地区住民自治協議会からの安全対策要望を受けての対応

### ■不燃ごみ、缶の処理再開に向けて

自動火災報知設備の先行復旧により、施設の早期再稼働を目指す  
4月中旬から6月下旬、及びトロンメル更新工事期間(1カ月半)は、  
民間事業者処理を委託

**概算経費: 月平均 約3,650万円/月 × 4ヶ月 ÷ 1億4,600万円**

**6月議会補正予算**

## ○資源再生センター復旧に向けた工事について(予定)

### (1)資源再生センター建築設備復旧工事(自火報復旧含む)

(施設の早期再稼働のため先行発注)

契約相手方(随契): 日立造船(株)

工事費: 32,400千円(流用対応)

### (2)資源再生センター資源化施設プラント設備復旧工事

契約相手方(随契): エス・エヌ環境テクノロジー(株)

工事費: 145,000千円

### (3)資源再生センター資源化施設ごみクレーン復旧工事

契約相手方(随契): 日立プラントメカニクス

工事費: 105,820千円

※合計: 250,820千円(概算) 6月議会補正予算

### (4) 資源再生センター資源化施設建屋復旧工事(詳細調査中)

センターでの処理再開に支障がないことから、9月議会補正予算で対応

※(公社)全国市有物件災害共済会の建物総合損害共済による補償(予定)

(1)(4)の工事は100%、(2)(3)の工事は20%補償の見込み

## ○随意契約をする理由

- ・不燃ごみの民間処理に係る経費を削減するため、被災した施設の復旧を早急に図り資源再生センターでの処理を再開する必要がある。
- ・復旧工事の請負者は、被災した施設の損傷状況を短期間で正確に把握する知識と、早急且つ的確な工事の施工ができる者でなければならない。

### (1)建築設備復旧工事

建設後改修実績はなく、施設の建設事業者である日立造船(株)が唯一、詳細に内容を把握している。

### (2)プラント設備復旧工事

建設後毎年機械のオーバーホール工事を請負っているエス・エヌ環境テクノロジー(株)が唯一、細部まで内容を把握している。

### (3)ごみクレーン設備復旧工事

建設後、毎年ごみクレーン整備工事を請負っている日立プラント(株)が唯一、細部まで内容を把握している。



# ○今後のスケジュールについて

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
不燃ごみ、缶の民間委託による処理(委託)	民間事業者による処理						民間事業者による処理						民間事業者による処理																	
建設設備復旧工事(自火報含む)(流用対応)	政策説明会 ●			入札・契約			自火報工事																							
地元説明(安全対策及び処理再開)	安全対策検討			地元説明																										
処理施設直接投入方式での処理再開							処理再開						処理再開																	
トロンメル更新工事(H30.6月議会債務負担工事)													トロンメル更新																	
損傷の確定、修繕見積もり、設計、入札ほか	見積			設計			6月補正			入札・契約			プラント設備復旧工事、ごみクレーン復旧工事																	
資源再生センターの全面復旧							設計			9月補正			入札・契約			建屋復旧工事(詳細調査中の為、工事費・工期未確定)														
																			資源再生センター全面復旧・処理											

- ・自火報の復旧、その他の安全対策を施し、地元へ説明、センターでの処理を再開する(コンベア直接投入方式)
- ・トロンメル更新工事期間は、不燃ごみの処理を民間事業者に委託(9月～10月上旬)
- ・トロンメル更新工事終了後、センターでの処理を再開(直接投入方式)→クレーン復旧後は通常の処理体制へ移行